

# Monthly Report

2018年11月号

## 特集

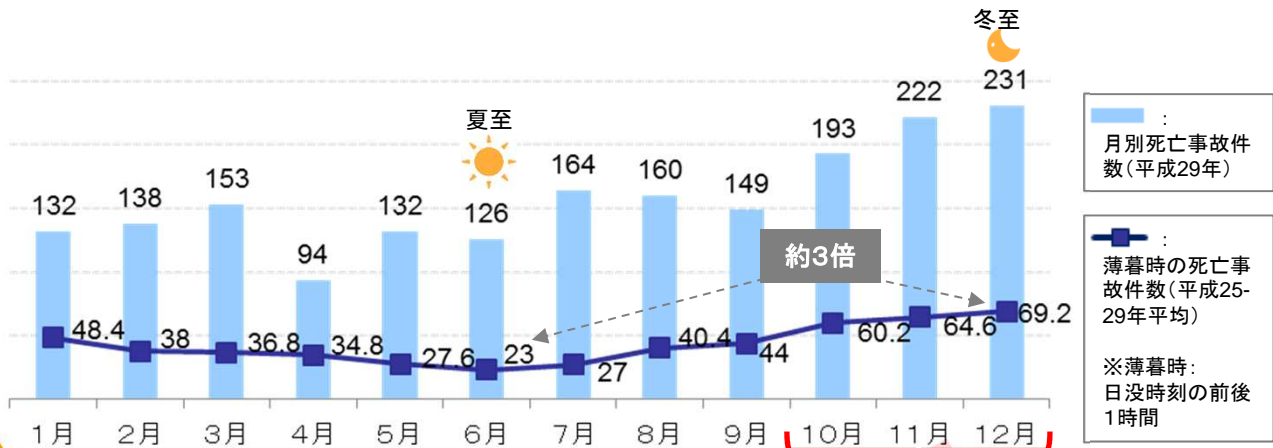
帰社時間、帰宅時には  
キケンがいっぱい

秋は気候が比較的安定し、作物も実りを迎える穏やかな季節です。しかし一方では、交通事故の死亡件数が12月のピークへ向け増加し続ける時期でもあります。

ドライバーにとって、帰社や帰宅時間が日没後の時間になっていくこの時期、会社や自宅の周辺、そこへ向かう道程は、危険があふれています。

## 1. 死亡事故が最多の月と時間帯

下のグラフは、「死亡事故件数」が10月、11月、12月に非常に多く、「薄暮時の死亡事故件数」も同様の傾向があり、さらに12月を6月に比べると約3倍であることを示しています。



※警察庁「平成30年上半期における交通死亡事故の特徴等について」から作成

[http://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/jiko/H30kaminhanki\\_3set.pdf](http://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/jiko/H30kaminhanki_3set.pdf)

(2018.10.3閲覧)

## 2. 帰社や帰宅の時間帯

11月1日の東京における日没時間は4時46分頃で、日没の1時間後は5時46分頃になります。

この時期、ドライバーの帰社や帰宅がちょうどこの時間帯に重なることが考えられます。

日付	日没	日付	日没
1月1日	4:38:26	7月1日	7:01:13
2月1日	5:08:10	8月1日	6:46:09
3月1日	5:35:52	9月1日	6:09:35
4月1日	6:02:27	10月1日	5:26:02
5月1日	6:27:23	11月1日	4:46:39
6月1日	6:51:24	12月1日	4:28:05

2018年 東京地方日没時刻: 国立天文台データから作成



SOMPO ホールディングス

損保ジャパン日本興亜

## 3. 帰社や帰宅時など到着地が近づくと高まるリスク

航空業界では、着陸前の8分間を魔の時間帯としています。このように到着地が近づくと高まるリスク、特にヒューマンエラーの発生に注意する必要があります。

◎ヒューマンエラーの引金として考えられる例

- 焦り : 事務仕事が進んでいないので、急いで帰社しようと、先急ぎの運転になる。
- 油断 : 家に帰ったら、〇〇ゲームをやろうと考え、注意力を欠いた運転になる。
- 疲労 : 一日の疲れから、ぼーとした状態で、漫然運転になる。

## 4. 交通事故の加害者にならないために

日没が早いこの時期は、ドライバーの認知力が低下し、更に帰社や帰宅の時間が重なることから判断力の低下のおそれもあり、総じて事故のリスクが高まっています。ドライバーには、危険であることを認識して、安全運転の意識を高めることが求められます。



▲帰宅や買い物でにぎわう時間帯



▲自転車の往来も活発な時間帯

薄暮時は、前照灯を上向きにしたり、速度を落とすことはもちろんですが、歩行者との事故が多いことを踏まえ、特に、横断歩道における歩行者優先義務を遵守しましょう。

### ◎横断歩道手前における減速義務

車両等は、横断歩道等に接近する場合は、その横断歩道等の直前で停止できるような速度で進行しなければならない。(道路交通法第38条第1項前段より)

### ◎横断歩道における一時停止義務

横断している、もしくは横断しようとしている歩行者がいる場合は、横断歩道直前で一時停止し、その通行を妨げてはならない。(道路交通法第38条第1項後段より)



SOMPO ホールディングス  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、  
「お・も・い・や・り」のある運転を!  
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス(株) 一同